

TABLE FOR TWO

テーブルの向こう側から

これまで給食
78,638,102食分の
ご寄付が集まりました！



(写真:学校で給食を食べていた頃)

フィリピン カステリヤホス

遠隔授業で学ぶ生徒に食材パックを配布

フィリピンでは10月に学校が再開しましたが、教室での対面授業ではなく、オンライン授業と教材を使った自己学習による遠隔教育が採用されています。

休校前はバライバイ小学校で、栄養失調と診断された生徒を対象に給食を提供していました。しかし新型コロナウイルス感染症による経済状態の悪化の影響を多くの家族が受けていることから、全生徒を対象に給食の食材を詰めたパックの配布を実施しています。保護者が仕事を失った家庭や、国内の移動制限のため父親が帰郷できない家庭もあり、生徒と家族は様々な課題に直面しています。

※ 2020年10月時点の情報に基づいて作成しています。



あの子の
テーブル



米や豆、コーンビーフやツナ缶、粉ミルクなどに加えて、醤油、酢や砂糖などの調味料を詰めた食材パックを配布しています。炭水化物、たんぱく質が豊富で、日々の食事に欠かせない食材を選びました。



自己学習の教材と食材パックの配布を担当した先生は、「いつもは遅れてくる保護者が今日は時間通りに来校したのには驚きました。パックを受け取ったときの満足そうな様子や安堵している顔を見て、こちらも嬉しくなりました。食材パックは児童と家庭にとって大きな支援になっています。」と話しています。

フィリピン
カステリヤホス



日本
愛知
東京

世界を繋ぐ ひとつの テーブル

わたしの一食が、
あの子の一食になる。



TABLE FOR TWO は開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む、日本発の社会貢献運動です。

わたしの
テーブル



春日井製菓では、毎年社員食堂でおにぎりを提供し、写真投稿で「おにぎりアクション」に参加しています。取り組みの趣旨を説明すると多くの社員が賛同し、プロップスと共に楽しく参加しました。今年は食堂だけではなく家庭での写真も投稿してもらうように協力をお願いし、全部で167枚の写真が集まりました。



日本水産八王子総合工場では、10月16日の世界食料デーに合わせ、ウガンダで給食として食されている「ポシヨ」をTFTメニューとして小鉢で提供し、支援先の子どもたちが食事をしている様子に思いを馳せました。マッシュポテトの上に、トマトソースで煮込んだ豆をトッピングした内容にアレンジし、社員からもとても好評でした。